

# Dell™ P2210 SFF AIOフラットパネルモニターユーザーズガイド

[製品の特徴](#)

[モニターのセットアップ](#)


[モニターの操作](#)


[問題を解決する](#)


[付録](#)

---

## 注、注意、警告

 **注:** 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

 **注意:** モニターが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、Dell テクニカルサポート に連絡してください。

 **警告:** 警告は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

---

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。  
© 2009 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 Dell、DELL ロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerVault、PowerApp および Dell OpenManage は、Dell社の商標です。Microsoft、Windows、および Windows NTは、マイクロソフト社の登録商標です。AdobeはAdobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。ENERGY STARは、米国環境保護省の登録商標です。ENERGY STAR パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

---

Model P2210f

2009年 8月 28日 Rev. A01

[目次ページに戻る](#)

## モニターについて

Dell™ P2210 SFF AIO フラットパネルモニター・ユーザーズガイド

- [パッケージの内容](#)
- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [プラグ・アンド・プレイ機能](#)
- [ユニバーサル・シリアルバス \(USB\) インターフェイス](#)
- [LCD モニタ品質とピクセルポリシー](#)
- [保守のガイドライン](#)

## パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネントがすべて付属しています。コンポーネントがすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは[Dellにご連絡ください](#)。

 **注:** 一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。

|   |        |
|---|--------|
|   | 1 モニター |
|  | 1 スタンド |

|   |  |
|---|--|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ケーブルカバー</li> </ul>  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 電源ケーブル</li> </ul>   |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 DVIケーブル</li> </ul>  |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 VGAケーブル(モニターに接続)</li> </ul>   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 USBアップストリームケーブル (モニターのUSBポートを有効にします)</li> </ul>   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ドライバとマニュアルメディア</li> <li>1 クイックセットアップガイド</li> <li>1 安全情報</li> <li>1 スタンドテンプレートシート</li> </ul> |

**製品の特徴**

P2210 SFF AIO フラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターの機能は、以下のようになっています。

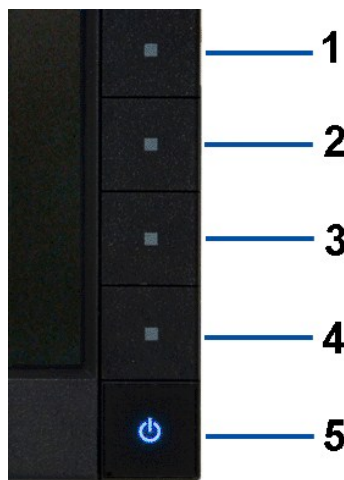
- 22インチ(558.68 mm)表示可能領域のディスプレイ(対角で測定)。
- 1680×1050解像度、低解像度の場合全画面もサポートしています。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- 傾き、旋回および垂直拡張調整機能
- 取り外し可能台座とVESA(ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ラベル カードが収納可能なので、技術サポートの際には簡単に製造番号を参照でき、また収納しているとラベルが見えないので、すっきりします。
- ソフトウェアとマニュアルメディアには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッピングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能(エネルギースターに準拠)。
- モニターとスタンドのセキュリティロックスロット
- 資産管理対応
- 広角表示から標準表示に、画像の品質を保ちながら切り替える機能
- ハロゲン還元
- スタンドベース下部のねじ穴でデスクトップへの取り付けが可能になりセキュリティの向上を図っています。
- 単純な手順による、モニタースタンドからコンピュータとケーブルカバーの自動結合と取り外し
- Dell OptiPlex960 を一体化するモニタースタンド™ 小さいフォームファクターコンピュータ、オールインワン設定のケーブルカバーとモニター。
- ロック可能なケーブルカバーにより、ケーブル管理が容易になり、ケーブルの盗難を防いでいます。
- スタンド背面のケーブル管理クリップで、ケーブルをまとめることができます。

## 部品とコントロールの確認

### 正面図



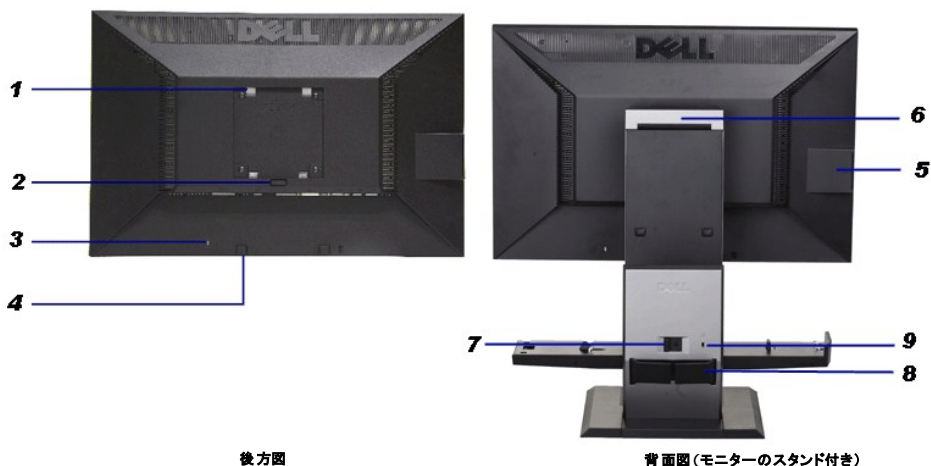
正面図



前面パネルのコントロール

| ラベル | 説明                        |
|-----|---------------------------|
| 1   | プリセットモード(デフォルト、しかし設定可能)   |
| 2   | 明るさ/コントラスト(デフォルト、しかし設定可能) |
| 3   | メニュー                      |
| 4   | 終了                        |
| 5   | 電源 (パワーライトインジケータ付き)       |

## 後方図




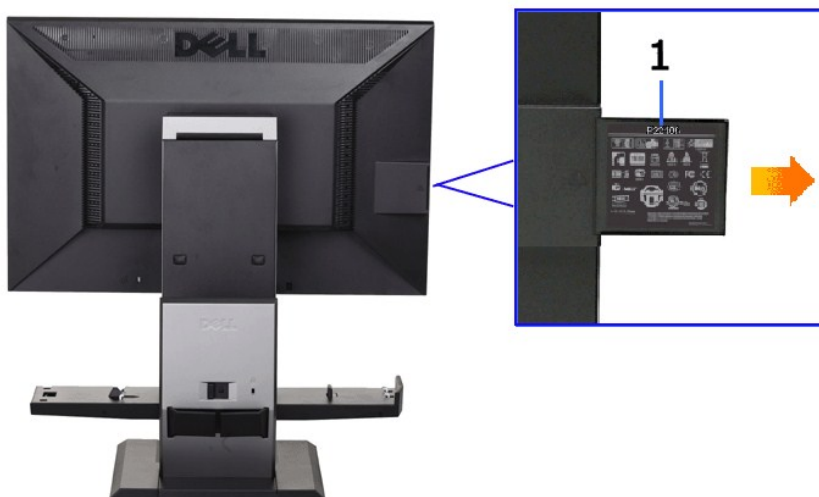
後方図

背面図 (モニターのスタンド付き)

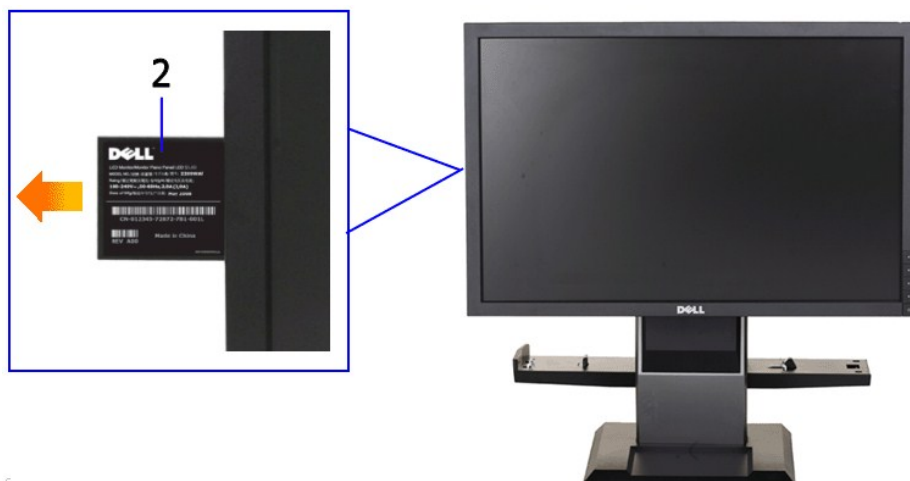
| ラベル | 説明   | 使用                                       |
|-----|--|--|
| 1   | VESA取り付け穴 (100mm x 100mm -接続されたベースプレートの背面) | VESA 互換の壁取付キットを使う壁取付モニター(100mm x 100mm)。 |
| 2   | スタンド取外しボタン                                 | スタンドをモニターから外します。                         |
| 3   | セキュリティロックスロット                              | セキュリティ ケーブル ロックでモニターを保護します。              |
| 4   | Dellサウンドバー取付ブラケット                          | オプションの Dell サウンドバーを取り付ける。                |
| 5   | 情報マーク                                      | 規制ラベルとバーコード ラベルを見つけるためのヘルプ。              |
| 6   | 自動格納式ハンドル                                  | モニターとコンピュータシステムを持ち運び可能にします。              |
| 7   | アンロックスイッチ                                  | コンピュータとケーブルカバーをスタンドから取り外します。             |
| 8   | ケーブル管理クリップ                                 | ケーブルを整理します                               |
| 9   | スタンドセキュリティロックスロット                          | コンピュータとケーブルカバーをセキュリティロックで固定します           |

## ラベル カードの図

 注: モニターの出荷時には、ラベル カードは完全に USB コンパートメントに収納されています。バーコードの製造番号ラベルと規制ラベルを見るためには、ラベル カードを引き出してください。



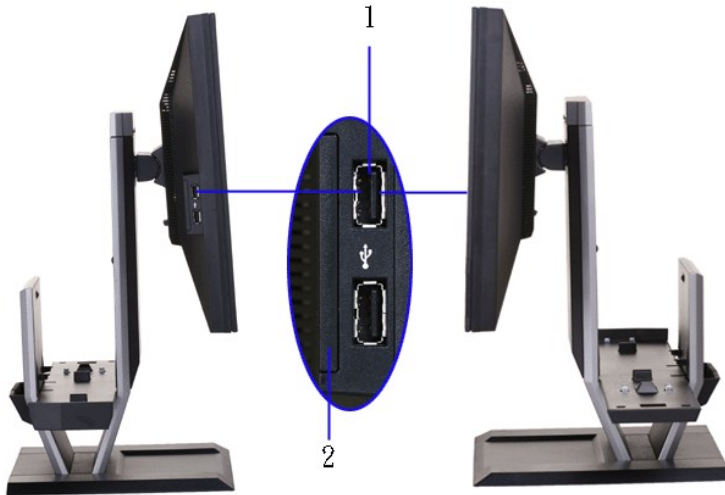
ラベル カードを広げたモニター背面の図



ラベル カードを広げたモニター前面の図

| ラベル | 説明              | 使用                           |
|-----|-----------------|------------------------------|
| 1   | 規制ラベル           | 規制承認を表示します。                  |
| 2   | バーコード・シリアル番号ラベル | 技術サポートを受けるには Dell に連絡してください。 |

## 側面図

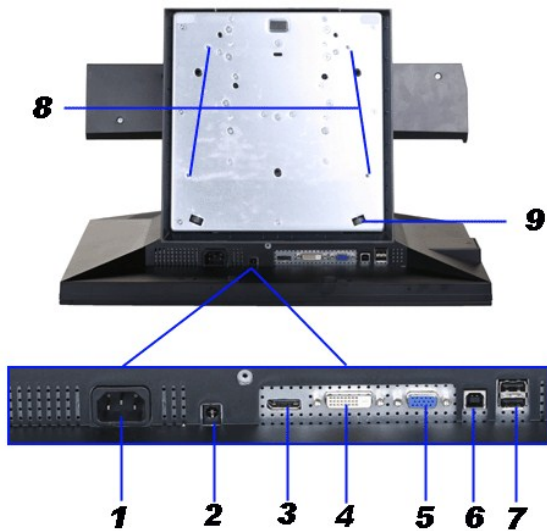


左側面図

右側面図

| ラベル | 説明             | 使用                               |
|-----|----------------|----------------------------------|
| 1   | USBダウンストリームポート | USB デバイスを接続してください。               |
| 2   | ラベル カード        | ラベルを参照する必要がないときに、すっきりした見栄えになります。 |

底面図

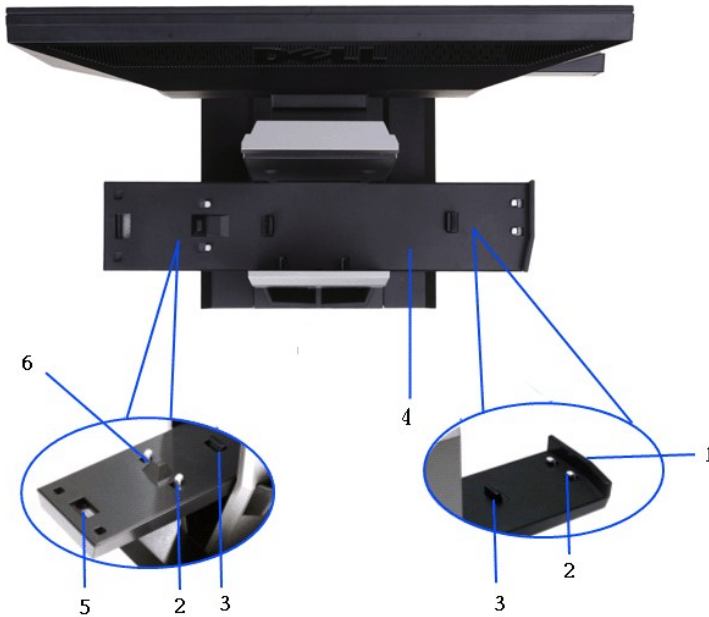


底部図

| ラベル | 説明                      | 使用                                   |
|-----|-------------------------|--------------------------------------|
| 1   | AC電源コードコネクタ             | 電源ケーブルを接続してください                      |
| 2   | Dell Soundbar 用直流電源コネクタ | Dell Soundbar 用電源コードを接続してください(オプション) |
| 3   | DPコネクタ                  | コンピューターの DPI ケーブルを接続してください           |

|   |                    |   |
|---|--------------------|---|
| 4 | DVIコネクタ            | コンピュータの DVI ケーブルを接続してください   |
| 5 | VGAコネクタ            | コンピュータの VGA ケーブルを接続してください   |
| 6 | USBアップストリームポート     | モニターに付いてきた USB ケーブルをモニターとコンピュータに接続してください。接続すると、モニターの側面と最下部にある USB 接続を使用できません。 |
| 7 | USBダウンストリームポート     | USB デバイスを接続してください。このコネクタは、USB ケーブルをコンピュータと、モニターの USB 上流ケーブルに接続した後にのみ利用できません。  |
| 8 | デスクトップマウントねじ穴 (4x) | デスクトップにスタンドをマウントし、セキュリティの向上を図ります  |
| 9 | スイベルローラー           | モニターを回転します  |

## 上方図



| ラベル | 説明              | 使用   |
|-----|-----------------|--|
| 1   | コンピュータの位置合わせ機能  | コンピュータの前面の輪郭を合わせます。                        |
| 2   | 自動シャワーシフック      | コンピュータをスタンドに自動的にロックします。                    |
| 3   | フックトリガー         | コンピュータがスタンドの上にあるときに検出し、自動シャワーシフックをかみ合わせます。 |
| 4   | コンピュータプラットフォーム  | コンピュータとケーブルカバーをスタンドで支えます。                  |
| 5   | ケーブルカバーラッチ      | スタンドからケーブルカバーを取り外します。                      |
| 6   | コンピュータの位置合わせランプ | コンピュータの背面エッジを合わせます。                        |

## モニター仕様

### フラットパネル仕様

|               |                       |
|---------------|-----------------------|
| スクリーンタイプ      | 有効マトリックス - TFT LCD    |
| パネルタイプ        | TN                    |
| 画面寸法          | 22インチ(22インチ表示可能画像サイズ) |
| 事前設定ディスプレイ領域: | 473.76(水平)X296.1(垂直)  |
| 水平            | 473.76 mm (18.7 in)   |
| 垂直            | 296.1mm (11.7 in)     |



|          |   |
|----------|---|
| ピクセル・ピッチ | 0.282 mm                                  |
| 表示角度     | 160°(垂直) 標準、170°(水平) 標準                   |
| ルミナンス出力  | 250 CD/m <sup>2</sup> (標準)                |
| コントラスト比  | 1000 対 1 (標準)、10000 対 1 (典型的な動的コントラスト オン) |
| 面板コーティング | ハードコーティング3Hでの遮光                           |
| バックライト   | 2-CCFLエッジライト方式                            |
| 応答時間     | 5 ms標準                                    |
| 色の深さ     | 1670 万種類の色v                               |
| 色域       | 83%*                                      |

\* [P2210 SFF AIO]の色域(標準)は、CIE 1976 (83%) およびCIE1931 (72%)テスト基準に基づいています。

## 解像度仕様

|            |                 |
|------------|-----------------|
| 水平走査幅      | 30kHz~83kHz(自動) |
| 垂直走査幅      | 56Hz~75Hz(自動)   |
| 事前設定の最高解像度 | 60Hzで1440 x 900 |

---

## ビデオのサポートモード

|                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ビデオディスプレイ機能 (DVI&DP 再生) | 480p, 576p, 720p, 1080p |
|-------------------------|-------------------------|

---

## 事前設定ディスプレイ・モード

| ディスプレイ・モード       | 水平周波数(kHz) | 垂直周波数(Hz) | ピクセル・クロック(MHz) | 同期種(水平/垂直) |
|------------------|------------|-----------|----------------|------------|
| VESA, 720 x 400  | 31.5       | 70.0      | 28.3           | -/+        |
| VESA, 640 x 480  | 31.5       | 60.0      | 25.2           | -/-        |
| VESA, 640 x 480  | 37.5       | 75.0      | 31.5           | -/-        |
| VESA, 800 x 600  | 37.9       | 60.3      | 40.0           | +/+        |
| VESA, 800 x 600  | 46.9       | 75.0      | 49.5           | +/+        |
| VESA, 1024 x 768 | 48.4       | 60.0      | 65.0           | -/-        |
| VESA, 1024 x 768 | 60.0       | 75.0      | 78.8           | +/+        |

|                   |      |      |       |     |
|-------------------|------|------|-------|-----|
| VESA, 1152 x 864  | 67.5 | 75.0 | 108.0 | +/+ |
| VESA, 1280 x 1024 | 64.0 | 60.0 | 108.0 | +/+ |
| VESA, 1280 x 1024 | 80.0 | 75.0 | 135.0 | +/+ |
| VESA, 1680 x 1050 | 65.2 | 60.0 | 146.0 | -/+ |

## 電氣的仕様

|               |  |
|---------------|--|
| ビデオ入力信号       | アナログRGB、0.7ボルト +/- 5%、正電極が75オーム入カインピダンス<br>デジタル DVI-D TMDS、50オーム入カインピダンスで各微分線、正電極に対して600mV |
| 同期入力信号        | 個別水平および垂直同期、電極フリー-TTLレベル、SOG(複合同期オン・グリーン)  |
| AC入力電圧/周波数/電流 | 100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz ± 3 Hz/1.5A (最大)  |
| インラッシュ電流      | 120 V: 30 A (最大)<br>240 V: 60 A (最大)   |

## 物理 特性

|             |  |
|-------------|--|
| コネクタ・タイプ    | 15-pin D-sub $\Sigma$ 三、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ                              |
| 信号ケーブル・タイプ  | デジタル: 取外可能、DVI-D、固定ピン、出荷時はモニターとは別<br>アナログ: 取外可能、D-sub、15ピン、出荷時はモニターに付属 |
| 寸法 (スタンド付き) |  |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 高さ(拡張)                                       | 20.77 in (527.38 mm) |
| 高さ(圧縮)                                       | 17.21 in (437.04 mm) |
| 幅  | 20.15 in (511.77 mm) |
| 奥行き  | 10.07 in (255.75 mm) |
| <b>寸法 (スタンドなし)</b>                           |                      |
| 高さ   | 13.16 in (334.17 mm) |
| 幅  | 20.15 in (511.77 mm) |
| 奥行き  | 2.56 in (65.00 mm)   |
| <b>スタンド寸法</b>                                |                      |
| 高さ(拡張)                                       | 18.09 in (459.38 mm) |
| 高さ(圧縮)                                       | 16.92 in (429.66mm)  |
| 幅  | 16.85 in (428.06 mm) |
| 奥行き  | 10.07 in (255.75 mm) |
| <b>重量</b>                                    |                      |
| 重さ(パッケージ含む)                                  | 12.60kg              |
| 重さ(スタンド・アセンブリとケーブルを含む)                       | 10.28 kg             |
| 重さ(スタンド・アセンブリなし)<br>(壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし) | 4.52 kg              |
| スタンド・アセンブリの重さ                                | 5.11 kg              |

---

## 環境特性

|            |   |
|------------|---|
| <b>温度</b>  |   |
| 運転時        | 0°~40°C   |
| 非運転時       | ストレージ:-20°~ 60°C (-4°~ 140°F)<br>出荷時:-20°~ 60° C (-4°~ 140°F) |
| <b>湿度</b>  |   |
| 運転時        | 10%~80% (結露しないこと)   |
| 非運転時       | ストレージ:5%~90% (結露しないこと)<br>輸送時:5%~90% (結露しないこと)                |
| <b>高度</b>  |   |
| 運転時        | 3,657.60 m (365,760.00 cm) 最大                                 |
| 非運転時       | 12,192 m (40,000 ft) 最大                                       |
| <b>熱発散</b> | 177.5 BTU/時(最大)<br>75.1 BTU/時(標準)                             |



[目次ページに戻る](#)

## 付録

### Dell™ P2210 SFF AIOフラットパネルモニターユーザーズガイド

- [安全指示](#)
- [米国連邦通信委員会\(FCC\)通告\(米国内のみ\)およびその他規制に関する情報](#)
- [Dellへのお問い合わせ](#)



#### 警告: 安全指示



警告: このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります

安全に関する注意事項については、[製品情報ガイド](#)を参照してください。

---

## 米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会(FCC)通告(米国内のみ)およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ [http://www.dell.com/regulatory\\_compliance](http://www.dell.com/regulatory_compliance)をご覧ください。

---

## Dellへのお問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。



注: インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには:

1. [support.dell.com](http://support.dell.com) にアクセスします。
2. ページ下部の Choose A Country/Region [国/地域の選択]ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。
3. ページ左側の Contact Us [連絡先]をクリックします。
4. 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。
5. ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

---

[目次ページに戻る](#)

[目次に戻る](#)


## モニターのセットアップ

Dell™ P2210 SFF AIO フラットパネルモニター

---

### インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

1. <http://support.dell.com> に移動し、サービスタグを入力したら、グラフィックスカードの最新ドライバをダウンロードしてください
2. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び 1680x1050 に設定します。

 **注:** 解像度 1680x1050 に設定できない場合、™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプタを調べてください。

---

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)


## モニタのセットアップ

Dell™ P2210 SFF AIO フラットパネルモニタ

---

### 非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. **詳細設定**を選択します。
4. ウィンドウ上部の説明から、グラフィックスコントローラサプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
5. 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> 或は <http://www.NVIDIA.com>) 。
6. グラフィックスアダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1680x1050**に設定します。

 **注:** 解像度を1680x1050に設定できない場合、コンピュータの製造元にお問い合わせになるか、1680x1050 のビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプタの購入をご考慮ください。

---

[目次に戻る](#)

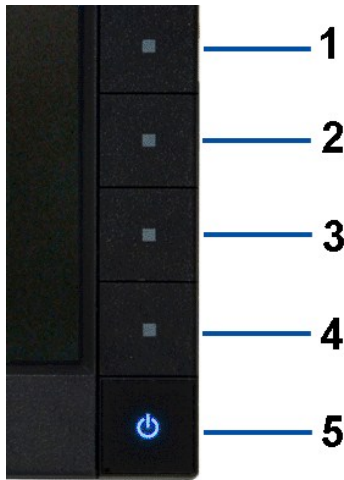
## モニターの操作






### Dell™ P2210 SFF AIOフラットパネルモニター・ユーザーズガイド

- [前面パネルコントロールの使用](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)メニューの使用](#)
- [最大解像度を設定する](#)
- [サウンドバー\(オプション\)を使う](#)
- [調整可能スタンドの操作](#)

## 正面パネルボタンを使う


モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用してコントロールを調整するとき、OSDが変更される特性の数値を示します。




| 正面パネルボタン |   | 説明  |
|----------|---|---|
| 1        | <br>ショートカットキー/リセットモード      | 「プリセットモード」を使用し、入力信号に従ってグラフィックスまたはビデオにディスプレイモードを設定します。コンピュータをモニタに接続している場合、グラフィックスを選択します。DVDプレーヤー、STB、またはVCRプレーヤーをモニタに接続している場合、ビデオを選択します。 |
| 2        | <br>ショートカットキー / 明るさ/コントラスト | このボタンを使って「明るさ/コントラスト」メニューにアクセスするか、選択したメニューオプションの値を上げます。   |
| 3        | <br>メニュー                   | [MENU(メニュー)]ボタンを使ってオンスクリーンディスプレイ(OSD)を起動し、OSDメニューを選択します。 <a href="#">メニューシステムにアクセスする</a> を参照してください。                                     |
| 4        | <br>終了                     | このボタンを使ってメインメニューに戻るか、OSDメインメニューを終了します。  |
| 5        | <br>電源<br>(電源ライトインジケータ)    | 電源ボタンを使ってモニタの電源のオン/オフを切り替えます。<br>青いLEDは、モニタがオンになっていて、完全に機能していることを示します。黄色のLEDは、DPMS省電力モードに入っていることを示します。                                  |

## オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューの使用

### メニューシステムにアクセスする

 **注:** 設定を変えてから別のメニューに進んだりOSDメニューを終了したりすると、モニタはこれらの変更を自動的に保存します。設定を変更してからOSDメニューが消えるのを待っても、変更は保存されません。

1.  ボタンを押してOSDメニューを起動し、メインメニューを表示します。

#### アナログ(VGA)入力用のメインメニュー



または

#### デジタル(DVI)入力用のメインメニュー



または
































#### ディスプレイ(DP)入力用のメインメニュー

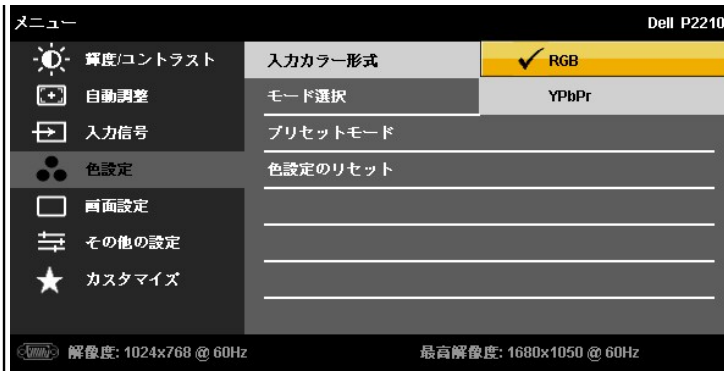


注: [AUTO ADJUST(自動調整)]は、アナログ(VGA)コネクタを使っているときにのみ利用できます。

2. と ボタンを押して、設定オプション間を移動します。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライト表示されます。モニターで利用できるすべてのオプションの完全なリストについては、次の表を参照してください。
3. ボタンを一度押すと、ハイライトされたオプションが有効になります。
4. と ボタンを押して、目的のパラメータを選択します。
5. を押してスライドバーに入り、メニューのインジケータに従って と ボタンを使い変更を行います。
6. オプションを選択してメインメニューに戻るか、OSDメニューを終了します。

| アイコン | メニューとサブメニュー  | 説明   |
|------|--------------|--|
|      | 明るさ/コントラスト   | このメニューを使って明るさ/コントラスト調整を有効にします。<br>   |
|      | 明るさ          | 明るさは、バックライトの輝度を調整します。<br>ボタンを押して明るさを上げ、 ボタンを押して明るさを下げます(最小0~最大100)。  |
|      | コントラスト       | まず明るさを調整し、それでも調整が必要な場合のみコントラストを調整します。<br>ボタンを押してコントラストを上げ、 ボタンを押してコントラストを下げます(最小0~最大100)。<br>コントラスト機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。 |
|      | ダイナミックコントラスト | ダイナミックコントラストは、10000:1にコントラスト比を調整します。   |

|   |                           |  |
|---|---------------------------|--|
|   |                           | <p>➡ ボタンを押してダイナミックコントラストの「オン」または「オフ」を切り替えます。</p>   |
|    | <p><b>自動調整</b></p>        | <p>起動時にモニタが認識された場合でも、<b>自動調整</b>機能があれば特定のセットアップで使用するために、ディスプレイ設定を最適化できます。</p> <p>自動調整では、モニタに着信するビデオ信号を自動調整します。自動調整を使用した後、画像設定の下でピクセルクロック（粗い）と位相（細かい）コントロールを使用して、モニタを微調整することができます。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; text-align: center; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">自動調整中...</div> <p><b>注:</b> ほとんどの場合、自動調整で設定すると最適の画像が得られます。</p> <p><b>注:</b> [AUTO ADJUST(自動調整)]オプションは、アナログ(VGA)コネクタを使っているときにのみ利用できます。</p>  |
|    | <p><b>入力ソース</b></p>       | <p>[Input Source(入力ソース)]メニューを使って、モニタに接続されたさまざまなビデオ信号を選択します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px;"> <p>メニュー <span style="float: right;">Dell P2210</span></p> <p>  輝度/コントラスト<br/>  自動調整<br/>  <b>入力信号</b><br/>  色設定<br/>  画面設定<br/>  その他の設定<br/>  カスタマイズ </p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #444; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><input checked="" type="checkbox"/> 自動選択</p> <p>VGA </p> <p>DVI - D </p> <p>DisplayPort </p> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">解像度: 1280x960 @ 60Hz <span style="float: right;">最高解像度: 1680x1050 @ 60Hz</span></p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <br/> <br/> <br/>  </div> |
|   | <p><b>自動ソース</b></p>       | <p>➡ を押して[Auto source(自動ソース)]を選択すると、モニタはアナログ信号を自動的に検出します。</p>  |
|  | <p><b>VGA</b></p>         | <p>アナログ(VGA)コネクタを使用しているとき、[VGA input(VGA入力)]を選択します。➡ を押してVGA入力ソースを選択します。</p>   |
|  | <p><b>DVI-D</b></p>       | <p>デジタル(DVI)コネクタを使用しているとき、[DVI input(DVI入力)]を選択します。➡ を押してDVI入力ソースを選択します。</p>   |
|  | <p><b>DisplayPort</b></p> | <p>DisplayPort (DP)コネクタを使用しているとき、[DisplayPort input(DisplayPort入力)]を選択します。➡ を押してDisplayPort入力ソースを選択します。</p>  |
|  | <p><b>色設定</b></p>         | <p>[Color Settings(色設定)]を使って色設定モードと色温度を調整します。</p> <p>VGA/DVI-Dおよびビデオ入力用に、さまざまな色設定サブメニューが用意されています。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #333; color: white; padding: 5px;"> <p>メニュー <span style="float: right;">Dell P2210</span></p> <p>  輝度/コントラスト<br/>  自動調整<br/>  入力信号<br/>  <b>色設定</b><br/>  画面設定<br/>  その他の設定<br/>  カスタマイズ </p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #444; color: white; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>入力カラー形式</b> ▶ RGB</p> <p>モード選択 ▶ グラフィックス</p> <p>プリセットモード ▶ 標準</p> <p>色設定のリセット</p> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">解像度: 1024x768 @ 60Hz <span style="float: right;">最高解像度: 1680x1050 @ 60Hz</span></p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <br/> <br/> <br/>  </div>  |
|   | <p><b>入力色形式</b></p>       | <p>モニタがコンピュータに接続されている場合はRGBを、またVGAまたはDVIケーブルを使用しているときはDVDを選択します。モニタがYPbPr対VGAまたはYPbPr対DVIケーブルによってDVDに接続されている場合、またはDVD色出力設定がRGBでない場合はYPbPrオプションを選択します。</p>  |



**モード選択** 入力信号に従って、**グラフィックス**または**ビデオ**を選択できます。

- 1 **グラフィックス**: モニタがコンピュータに接続されている場合は、このモードを選択します。
- 1 **ビデオ**: モニタがDVDプレーヤーに接続されている場合は、このモードを選択します。

**プリセットモード** **グラフィックス**を選択すると、**標準**、**マルチメディア**、**ゲーム**、**暖色**、**寒色**、または**カスタム(R,G,B)**を選択できます。

- 1 **標準**: モニタのデフォルトの色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- 1 **マルチメディア**: マルチメディアアプリケーションに適した色設定をロードします。
- 1 **ゲーム**: ほとんどのゲームアプリケーションに適した色設定をロードします。
- 1 **暖色**: 色温度を増加します。画面は赤/黄の色合いで暖かく見えます。
- 1 **寒色**: 色温度を減少します。画面は青い色合いで冷たく見えます。
- 1 **カスタム(R, G, B)**: 色設定を手動で調整します。とボタンを押して3つの色(R, G, B)値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。

















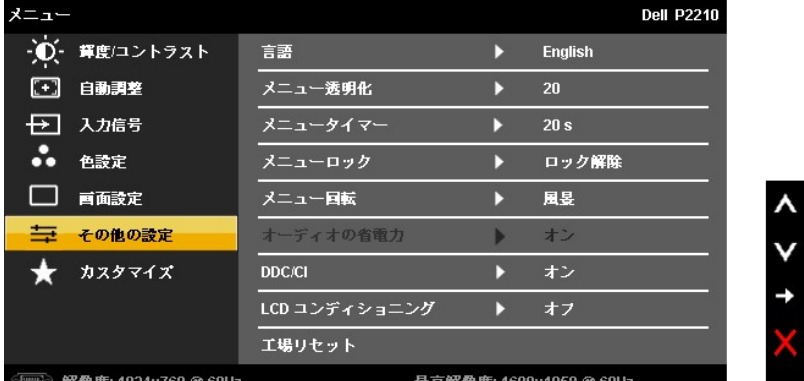
**ビデオ**を選択すると、**ムービー**、**ゲーム**、**スポーツ**、または**自然**プリセットを選択できます:





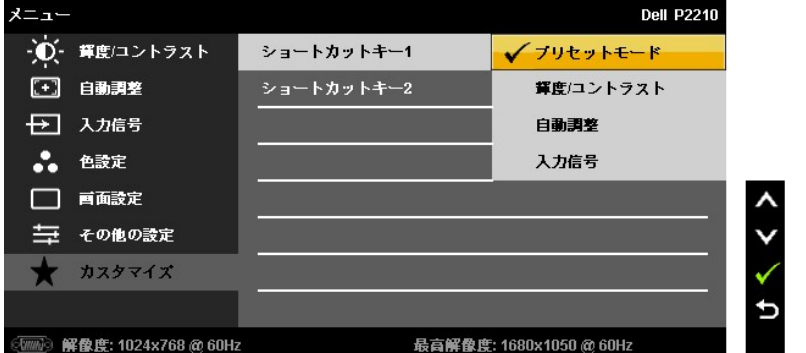
- 1 **ムービー**: ムービーに適した色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- 1 **スポーツ**: スポーツに適した色設定をロードします。
- 1 **ゲーム**: ゲームに適した色設定をロードします。
- 1 **自然**: 自然に適した色設定をロードします。



**色合い** この機能により、ビデオ画像の色は緑または紫にシフトします。色合いは、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。または、を使って色合いを「0」～「100」の範囲で調整します。

を押してビデオ画像の緑の影を増加し、

|  |   |
|--|---|
|  |  を押してビデオ画像の紫の影を増加します   |
|  | <p>注: 色合い調整は、ビデオ入力に対してのみ使用できます。</p> <p>この機能は、ビデオ画像の色の彩度を調整します。または を使って彩度を「0」～「100」の範囲で調整します。</p>  |
| 彩度   | <p> を押してビデオ画像のモノクロの外見を増加し、</p> <p> を押してビデオ画像の色鮮やかな外見を増加します</p> <p>注: 彩度調整は、ビデオ入力に対してのみ使用できます。</p> |
| 色設定のリセット   | <p>モニタの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。</p>  |
|  ディスプレイ設定 | <p>ディスプレイ設定を使って画像を調整します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div>  |
| ワイドモード   | <p>画像比を16:10または全画面として調整します。</p>   |
| 水平位置   | <p> または  を使って画像を左または右に調整します。最小は「0」(-)です。最大は「100」(+ )です。</p>                                     |
| 垂直位置   | <p> または  を使って画像を上または下に調整します。最小は「0」(-)です。最大は「100」(+ )です。</p>                                   |
| シャープネス   | <p>この機能を使って、画像をよりシャープにまたはソフトにします。  または  を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。</p>                    |
| ピクセルロック  | <p>位相およびピクセル調整により、モニタをお好みに従って調整できます。</p> <p> または  を使って最適な画像品質に調整します。</p>                      |
| 位相   | <p>位相調整を使って満足する結果が得られない場合、ピクセルロック(粗い)調整を使い、次に位相(細かい)を再び使用します。</p> <p>注: ピクセルロックと位相調整は、「VGA」入rくでのみ利用できます。</p>  |
| ディスプレイ設定のリセット  | <p>このオプションを選択して、デフォルトのディスプレイ設定を復元します。</p>   |
|  その他の設定 | <p>このオプションを選択して、OSDの言語、メニューが画面に表示されている時間など、OSDの設定を調整します。</p>  |
|  | <div style="display: flex; align-items: center;">  </div>   |
| 言語   | <p>OSDディスプレイを8つの言語(英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語)の1つに設定する言語オプション</p>   |
| メニューの透明度   | <p>このオプションを選択し、最初または 2番目のボタンを押してメニューの透明度を変更します(最小: 0~最大: 100)。</p>  |

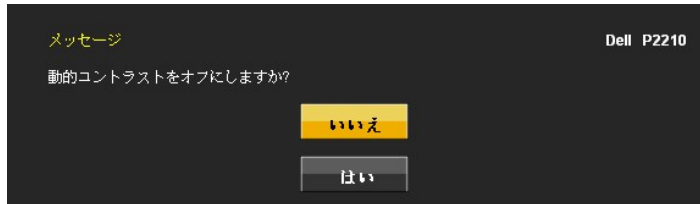
|              |  |
|--------------|--|
| メニュータイマ      | <p>OSD保持時間: ボタンを最後に押してからOSDが有効になっている時間の長さを設定します。</p> <p> または  を使ってスライダを5~60秒まで、5秒刻みで調整します。</p> |
| メニューロック      | <p>ユーザーの調整へのアクセスをコントロールします。[Lock(ロック)]が選択されているとき、ユーザー調整は許可されません。すべてのボタンがロックされます。</p> <p>注: OSDがロックされているとき、メニューボタンを押すと[OSDロック]が選択された状態で、OSD設定メニューが直接開きます。[アンロック]を選択するとロックが解除され、適用可能なすべての設定にアクセスできるようになります。</p>  |
| メニューの回転      | <p>OSDを90度反時計回りに回転します。</p>   |
| オーディオの省電力    | <p>省電力モードの間に、オーディオの電源のオンとオフを切り替えます。</p>  |
| DDC/CI       | <p>DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェイス)により、コンピュータのソフトウェアを介してモニタのパラメータ(明るさ、色バランスなど)を調整します。[無効]を選択することで、この機能を無効にできます。ユーザー体験を最大限に高め、モニタのパフォーマンスを最適にする場合、この機能を有効にします。</p>          |
| LCDコンディショニング | <p>画像保持の微細な問題を軽減します。画像保持の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。[有効]を選択することで、この機能を有効にできます。</p>    |
| 出荷時にリセット     | <p>すべてのOSD設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。</p>   |
| ★ カスタマイズ     | <p>「プリセットモード」、「明るさ/コントラスト」、「自動調整」、「入力ソース」、「エネルギーモード」から選択し、ショートカットキーとして設定できます。</p>    |

注: このモニタには、明るさを校正してCCFL経年劣化を補正する機能が組み込まれています。

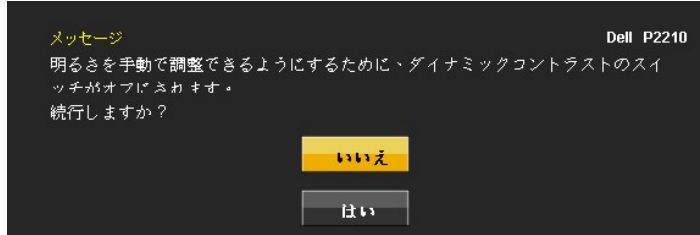


## OSD警告メッセージ

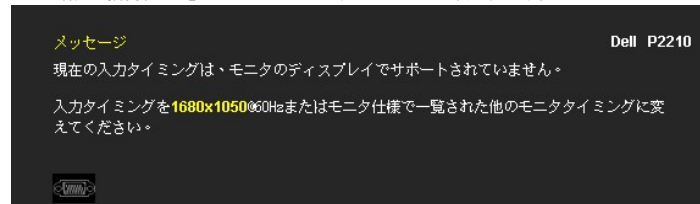
ダイナミックコントラスト機能は、ゲーム、ムービー、スポーツ、自然モードでのみ提供されています。これらのモードから他のモードに切り替えると、ダイナミックコントラスト機能は無効になります。



ダイナミックコントラスト機能が有効になっているとき(ゲーム、ムービー、スポーツ、自然の3つのモードで)、手動明るさ調整は無効になります。

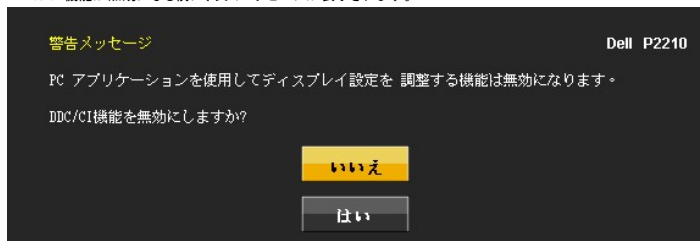


モニタが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます。

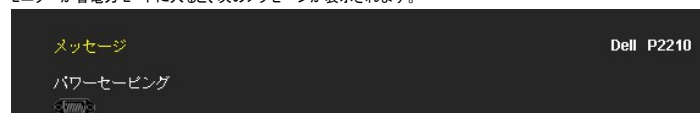


これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、1680 X 1050です。

DDC/CI機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます。



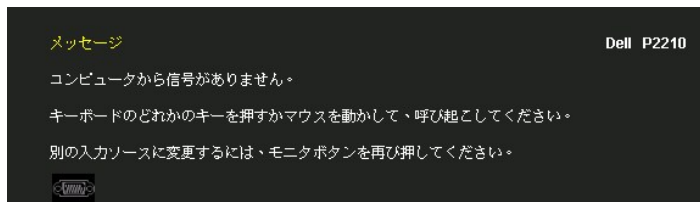
モニターが省電力モードに入ると、次のメッセージが表示されます。



コンピュータを有効にして、モニターを立ち上げ、[OSD](#)にアクセスします。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージのどれかが表示されます。

### VGA/DVI-D 入力



VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



詳細は、[問題を解決する](#) を参照してください。

## 最大解像度を設定する

モニターを最適の解像度に設定するには、

1. デスクトップを右クリックして、**プロパティ**を選択します。
2. **設定**タブを選択します。
3. 画面解像度を1680 x 1050に設定します。
4. **OK**をクリックします。

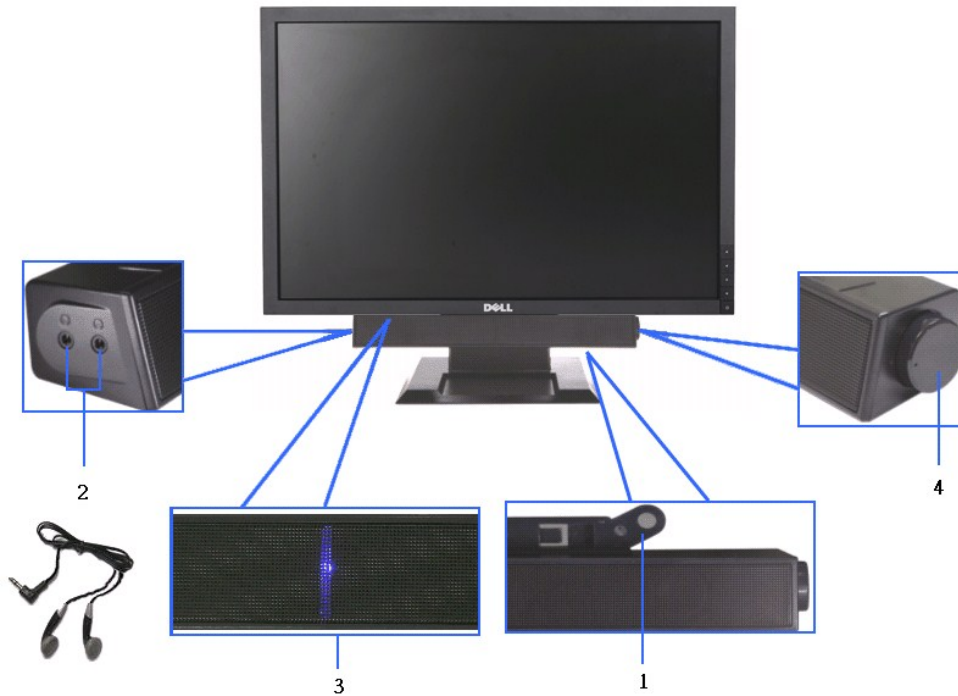
オプションとして1680 x 1050がない場合は、グラフィック・ドライバを更新する必要があります。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

1. Dellデスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合。
  - [support.dell.com](http://support.dell.com)に進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。
1. Dell以外のコンピュータ(ポータブルまたはデスクトップ)をお使いの場合:
  - コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
  - グラフィックス・カード・ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

## Dellサウンドバー(オプション)を使う

DellサウンドバーはDellフラットパネルディスプレイの取り付けに適した2つのチャンネルシステムから成っています。

サウンドバーには全体システム・レベルを調整する回転音量とオン/オフ・コントロール、電源表示用の青のLEDおよびオーディオ・ヘッドフォン・ジャック2つが搭載されています。



1. 機器を固定する
2. ヘッドフォンジャック
3. 電源インジケータ

## 調整可能スタンドの操作

### 傾き調整


表示角度は前方に4°、後方に21°、見やすい角度になるまで調整することができます。



### 高さ調整

スタンドは見やすい高さまで垂直に90mm延長できます。




 注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。

---

### スイベル調整

モニターを見やすい向きになるまで回転します。



 **注：** スタンドがデスクトップ面に取り付けられているとき、スタンドのスイベル機能は無効になります。

---

[目次ページに戻る](#)

[目次に戻る](#)

## モニタのセットアップ

Dell™ P2210 SFF AIO フラットパネルモニタ

---

### ディスプレイ解像度を1680x 1050(最大)に設定する「安全上の注意」

Microsoft Windows® オペレーティングシステムを使用している間最適なディスプレイパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を 1680 x 1050画素を設定します:

1. デスクトップを右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **設定**タブを選択します。
3. マウスの左ボタンを押し下げることによってスライドバーを右に移動し、スクリーン解像度を 1680X1050に調整します。
4. **OK**をクリックします。

オプションとして 1680X1050 が表示されない場合、グラフィックスドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピュータシステムをもっとよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください:

1: [インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップコンピュータまたは Dell™ ノート PC を使用している場合。](#)

2: [非 Dell™ デスクトップコンピュータ、ノート PC、またはグラフィックカードを使用している場合。](#)

---

[目次に戻る](#)

# Dell™ P2210 SFF AIOフラットパネルモニタ

[ユーザーガイド](#)

[ディスプレイ解像度を1680 x 1050\(最大\)に設定する「安全上の注意」](#)

---

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。

© 2009 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 本テキストで使用した商標: Dell および Dell ロゴは Dell Inc の商標です。Microsoft、Windows、および Windows NTは、マイクロソフト社の登録商標です。ENERGY STARは、米国環境保護省の登録商標です。ENERGY STAR パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使用することがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

---

Model P2210f

2009年 8月 28日 Rev. A01

[目次ページに戻る](#)

## モニターのセットアップ


Dell™ 2210 SFF AIOフラットパネルモニター(Dell OptiPlex™960; SFF コンピュータ用)

- [モニターおよびコンピュータ背面のケーブル接続](#)
- [スタンドからケーブルカバーとコンピュータを取り外す](#)
- [スタンドからモニターを分離する](#)
- [Dellサウンドバーを取り付ける\(オプション\)](#)

### モニターおよびコンピュータ背面のケーブル接続

#### 1. モニターをスタンドに取り付けます


- スタンド上の2つのタブに、モニター背面の溝を固定します。
- スタンドにしっかりとロック、固定されるまで、モニターを下ろします。

 **注:** モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。



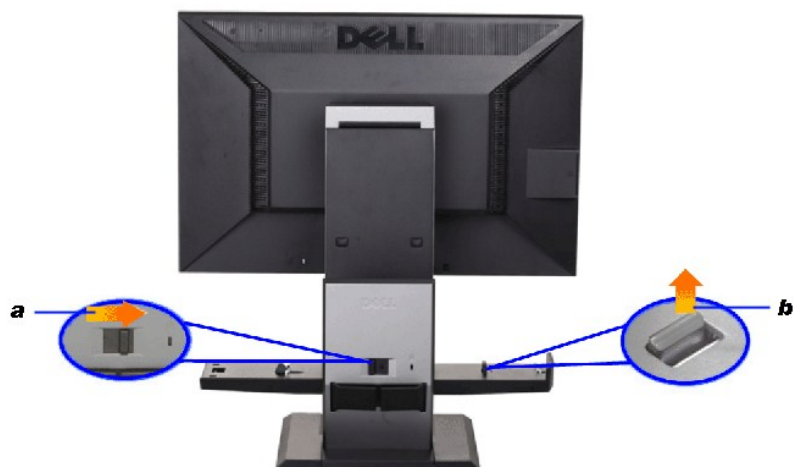
2. OptiPlex 960 SFF (小さなフォームファクタ) をスタンドにマウントする前に、フックトリガーが引き伸ばした位置にあることを確認します。



 **注:** スタンドを工場から出荷するとき、フックトリガーは引き伸ばされた状態になっています。

トリガーフックがロックされた位置にある場合

- アンロックスイッチを右にスライドさせます。
- フックトリガーが解放され引き伸ばされた位置にきます。



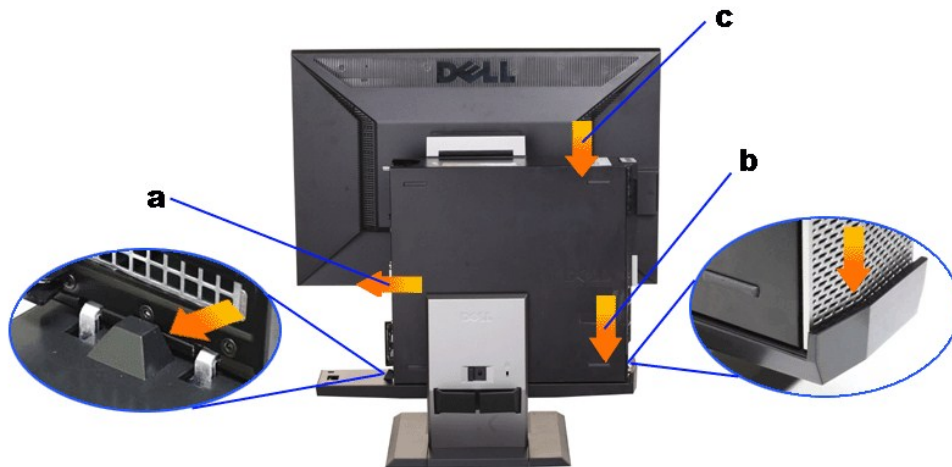
3. ステップに置かれているコンピュータ背面のスタンドにOptiPlex 960 SFF (小さなフォームファクタ) コンピュータを設置します。




4. OptiPlex 960 SFF (小さなフォームファクタ) コンピュータをスタンドの自動ロック機構にかみ合わせます。

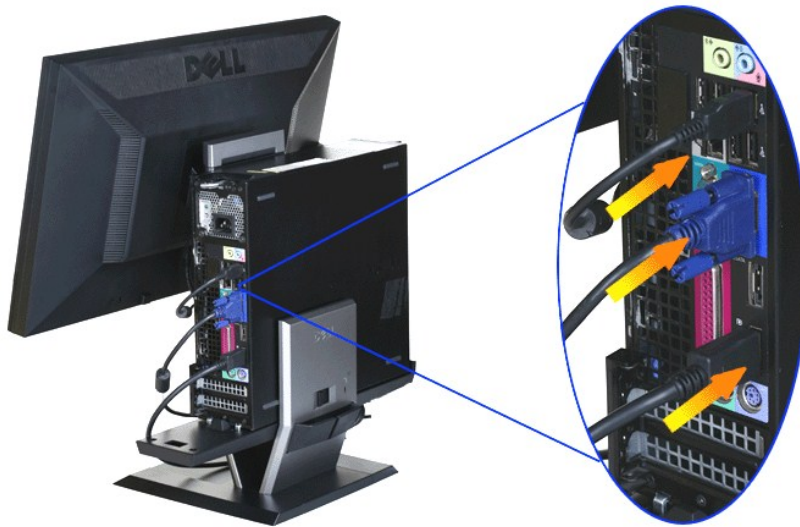
- a. コンピュータが位置合わせ斜面にくるまで、シャーシの方にトーンします。
- b. コンピュータの前面を位置合わせ機能を使用して下げます。
- c. 自動シャーシフックがOptiPlex 960 SFF (小さなフォームファクタ) コンピュータをスタンドにロックするまで、コンピュータの先端を押します。






5. 青いアナログ (VGA) ケーブルまたはDP (別売) ケーブルとUSBケーブルをコンピュータに接続します。

 注: この青いアナログ (VGA) ケーブルはモニターに取り付けられたまま出荷されます。



6. 電源ケーブルをモニターとコンピュータに接続します。

 注: モニターの電源ケーブルとケーブルカバーは、モニターと一緒に出荷されます。

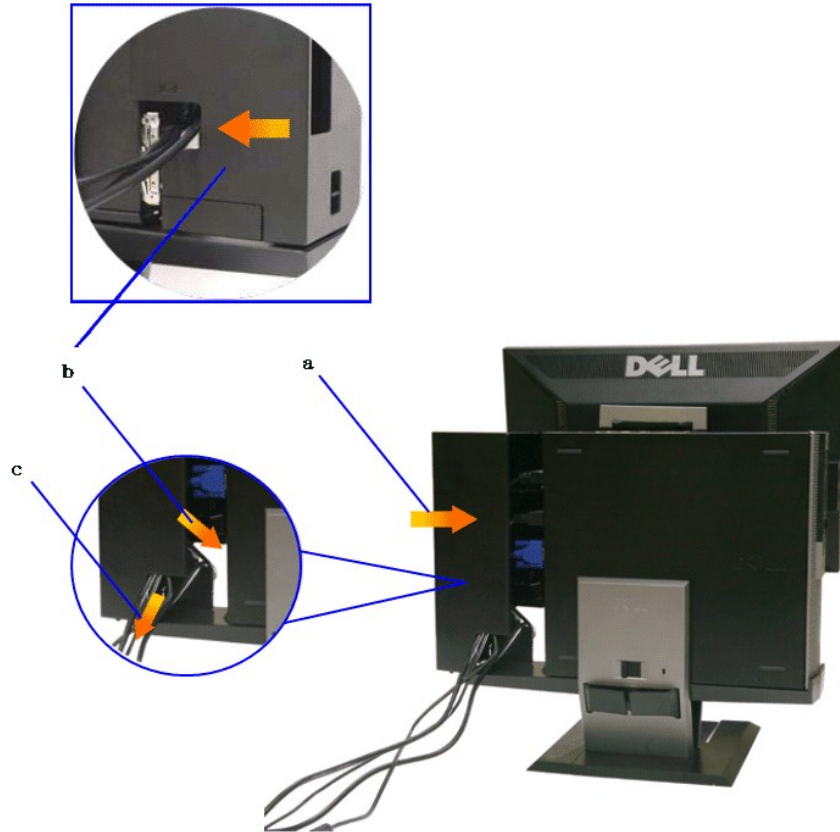


7. キーボード、マウスおよびその他のケーブルをコンピュータに接続します。

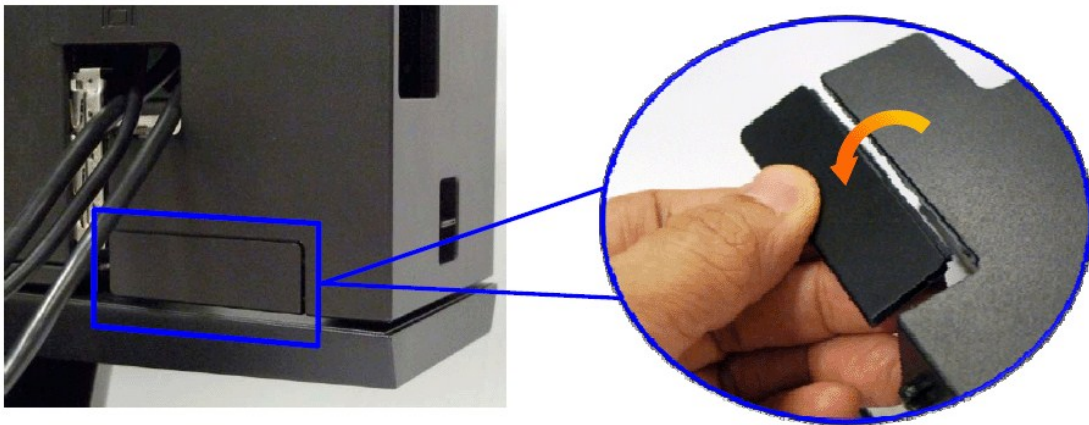


8. ケーブルカバーの開口部を通して、ケーブルを配線します。

- a. ケーブルカバーはコンピュータの傍に置くようにします
- b. ケーブルカバーの前面開口部を通して、モニター(電源、USB、VGAケーブル)に接続されたケーブルを配線します。
- c. コンピュータの電源ケーブル、モニターの電源ケーブル、コンピュータ(マウス、キーボード、ネットワーク、プリンタ、回線オーディオなど)に接続されたその他のケーブルを、ケーブルカバーの背面開口部を通して配線します。



注:ビデオアダプタを使用しない場合は、ビデオアダプタが取り付けられているコンピュータ システムでは、分離部分を輪郭に沿って取り外してください。



分離部分を輪郭に沿って取り外してください。

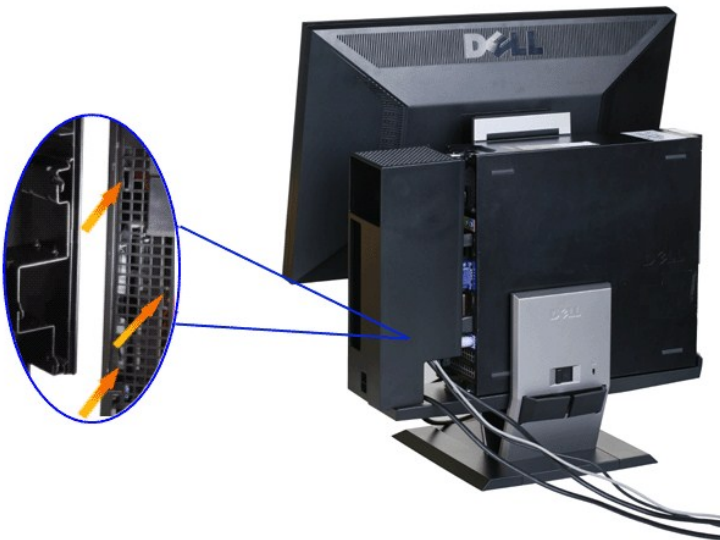


新しい開口部を通るドングルルート

Optiplex SFF コンピュータ用ビデオドングルのリスト

| ビデオドングル                          | ビデオカード                   |
|----------------------------------|--------------------------|
| DMS 59 からデュアル DVI へのドングル(含まれている) | 256MB ATI RADEON HD 3450 |
| DMS 59 からデュアル VGA へのドングル(含まれている) |                          |
| DP から DVI へのドングル(2 個含まれている)      | 256MB ATI RADEONHD3470   |
| DP から DVI へのドングル(オプション)          | 統合表示ポート                  |

9. 背面カバーをコンピュータの背面パネルに、ケーブルカバーの3つのフックをコンピュータ背面パネルの3つのスロットにかみあわせることで取り付けます。ケーブルを切断しないように、十分注意してください。



10. ケーブルカバーのロックスイッチを押し下げて、ケーブルカバーをスタンドにロックします。

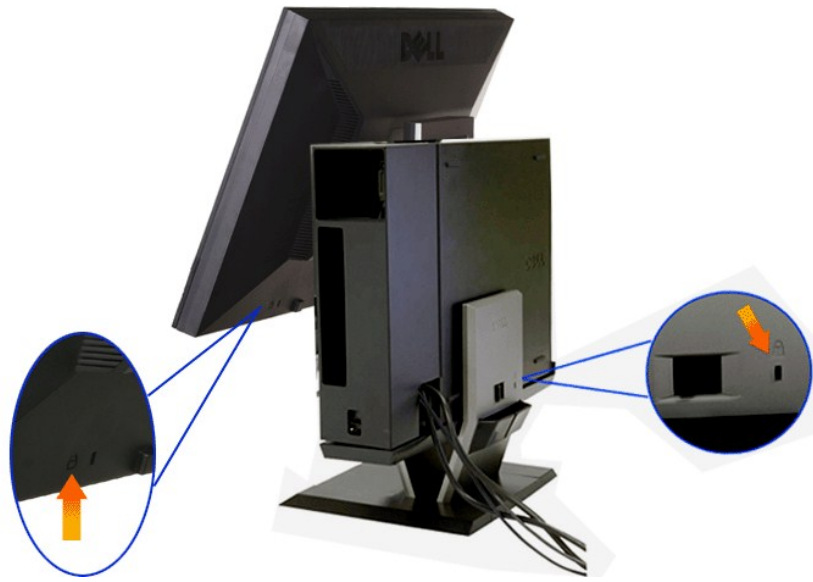


11. ケーブル管理クリップを使用して、以下に示すようにすべてのケーブルをきちんと整理します。



12. セキュリティロックをコンピュータとモニターに取り付けます(オプション)





13. コンピュータとモニターの電源ケーブルを近くのコンセントに差し込みます。



14. モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。

モニターに画像が表示されたら、インストールは完了します。画像が表示されない場合は、[トラブルシューティング](#)を参照してください。



---

スタンドからケーブルカバーとOptiPlex 960 SFF(小さなフォームファクタ)コンピュータを取り外します。

1. モニターとコンピュータの電源ケーブルを抜きます。



2. スタンドからケーブルカバーとOptiPlex 960 SFF(小さなフォームファクタ)コンピュータを解除します。

1. オプションのセキュリティロック(使用されている場合)をスタンドから取り外します。
2. アンロックスイッチを右にスライドさせて、スタンドからケーブルカバーとOptiPlex 960 SFF(小さなフォームファクタ)コンピュータをアンロックします。



3. ケーブル管理クリップからケーブルを取り外します。
4. コンピュータとスタンドから、ケーブルカバーを持ち上げ取り外します。




5. コンピュータからすべてのケーブルを抜きます。
6. スタンドからOptiPlex 960 SFF (小さなフォームファクタ) コンピュータを持ち上げて取り外します。





---

## スタンドからモニターを分離する

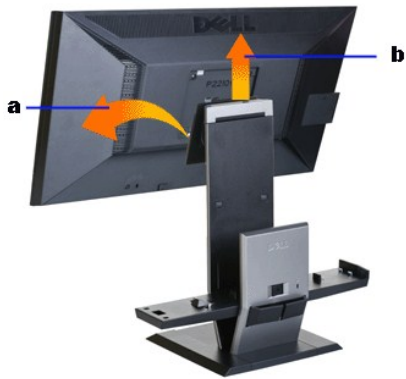
 注: このモニターはVESA標準の壁マウント用で、スタンドからモニターを取り外す必要があります。

1. スタンドの取り外しボタンを押してスタンドからモニターを取り外します。



2. モニターをスタンドから取り外します

- a. スタンドからモニターの下部を引き離します。
- b. モニターをスタンドから持ち上げます。



---

### Dellサウンドバーを取り付ける(オプション)



⚠ **注意:** サウンドバー電源コネクタを他のデバイスとともに使用しないでください。?

1. モニター底部の2つのタブで、サウンドバー上のスロット2つを調整することで、サウンドバーを固定します。
2. 正位置にカチッとハマるまで、スライドバーを左にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。
4. 緑ステレオプラグをサウンドバーからコンピュータのオーディオ出力コネクタに差し込みます。

📌 **注:** サウンドバーパワーコネクタ +12V DC 出力は、オプション専用です。

⚠ **注意:** Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

---

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

## トラブルシューティング

### Dell™ P2210 SFF AIOフラットパネルモニター

- [自己テスト](#)
- [内蔵診断](#)
- [よくある問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
- [Dellサウンドバーの問題](#)

**警告:** このセクションで手続きをはじめの前に、[安全指示書](#)に従ってください。

### 自己テスト

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください:

1. コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
2. コンピュータの後ろかビデオケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル(白コネクタ)とアナログ(黒コネクタ)ケーブル両方を外します。
3. モニターの電源をオンにする。

モニタがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが(黒い背景に)表示されます。自己テストモードでは、電源LEDが緑になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。



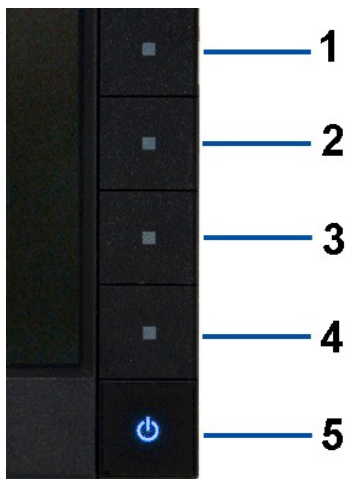
4. ビデオケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにして、ビデオケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオコントローラおよびコンピュータをチェックしてください。

### 内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピュータやビデオカードに固有の問題かを判断します。

**注:** 内蔵の診断は、ビデオケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。



内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います。

1. 画面がきれいであること(または、画面の表面に塵粒がないこと)を確認します。
2. コンピュータの後ろかビデオケーブルを外します。モニターが自己テストモードに入ります。
3. 正面パネルのボタン1とボタン4ボタンを2秒間同時に押し続けます。グレイの画面が表示されます。
4. 画面に異常がないか、慎重に検査します。
5. 正面パネルのボタン4ボタンを再び押します。画面の色が赤に変わります。
6. ディスプレイに異常がないか、検査します。
7. ステップ5と6を繰り返して、緑、青、白色の画面についてもディスプレイを検査します。

白い画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、ボタン4ボタンを再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオカードとコンピュータをチェックしてください。

## よくある問題


次の表には、発生する可能性のあるモニタのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

| 一般的な症状          | 発生した問題                    | 実行可能な解決策   |
|-----------------|---------------------------|--|
| ビデオなし/電源LEDオフ   | 画像が表示されない                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。</li> <li>1 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。</li> <li>1 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。</li> </ul>   |
| ビデオなし/電源LEDオフ   | 画像なし、または明るさが低い            | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを増加します。</li> <li>1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> <li>1 内蔵診断を実行します。</li> </ul>  |
| フォーカスが弱い        | 画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li> <li>1 ビデオ拡張ケーブルを外します。</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 ビデオ解像度を正しいアスペクト比(16:10)に変更します。</li> </ul>   |
| ビデオが揺れたり/ずれたりする | 画像が波打ったり、微妙にぶれる           | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、位相とピクセルクロック制御を調整してください。</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 環境係数をチェックします。</li> <li>1 モニタの場所を変えて、他の部屋でテストします。</li> </ul>  |
| ピクセルが抜けている      | LCDスクリーンに点が入る             | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 サイクル電源オン-オフ。</li> <li>1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。</li> <li>1 内蔵診断を実行します。</li> </ul>  |
| ドット落ち           | LCDスクリーンに明るい点が入る          | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 サイクル電源オン-オフ。</li> <li>1 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これはLCDテクノロジーに固有の欠陥です。</li> <li>1 内蔵診断を実行します。</li> </ul>  |
| 明るさの問題          | 画像が薄すぎるか、明るすぎる            | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul>   |
| 幾何歪曲            | スクリーンが正確にセンタリングされていない     | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDによって、明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「2: DVI-D」を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。</p>   |
| 水平/垂直ライン        | スクリーンに複数の線が入る             | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。</li> <li>1 モニター自己診断機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> <li>1 内蔵診断を実行します。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「2: DVI-D」を使用しているとき、ピクセルクロックとフェーズ調整はご利用いただけません。</p> |
| 同期化の問題          | スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 OSDによって自動調整を実行します。</li> <li>1 OSDで、フェーズとピクセルクロックコントロールを調整します。</li> <li>1 モニター自己診断機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テストモードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> <li>1 セーフモードでコンピュータを再起動します。</li> </ul>   |
| 安全関連問題          | スモークまたはスパークの明らかな症状        | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 トラブルシューティング手順を実行しないでください。</li> <li>1 直ちにDellにご連絡ください。</li> </ul>  |
| 断続的問題           | モニターの誤作動をオンおよびオフ          | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> <li>1 モニター自己診断機能チェックを行い、断続的問題が自己テストモードでも発生するかどうかを確認します。</li> </ul>  |
| 色が欠けている         | 画像の色が欠けている                | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。</li> <li>1 コンピュータにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。</li> <li>1 ビデオケーブルコネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。</li> </ul>   |

|                               |                          |   |
|-------------------------------|--------------------------|---|
| 色違い                           | 画像の色が正しくない               | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 色設定OSDで、アプリケーションに応じて、色設定モードをグラフィックスまたはビデオに変更します。</li> <li>1 色設定OSDで異なる色プリセット設定を試みます。色管理がオフになっている場合、色設定OSDでR/G/B値を調整します。</li> <li>1 アドバンス設定OSDで、入力色形式をPC RGBまたはYPbPrに変更します。</li> <li>1 内蔵診断を実行します。</li> </ul> |
| 長時間モニタに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き | 表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください(詳細については、<a href="#">電源管理モード</a>を参照してください)。</li> <li>1 または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。</li> </ul>   |

## 製品別の問題

| 特定の症状                   | 発生した問題   | 実行可能な解決策   |
|-------------------------|--|--|
| スクリーン画像が小さい             | 画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 画像設定OSDで、スケーリング比設定を確認します</li> <li>1 モニタを工場出荷時設定にリセットします。</li> </ul>   |
| 正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない | OSDがスクリーン上に表示されない  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。</li> </ul>  |
| ユーザコントロールを押しても入力信号がない   | 画像がなく、LEDのライトは白くなっています。側面の4個のボタンのどれかを押し、「[S]ビデオ入力信号がありません」、「コンポジット入力信号がありません」または「コンポーネント入力信号がありません」というメッセージが表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピュータが省電力モードに入っていないことを確認します。</li> <li>1 Sビデオ、コンポジットまたはコンポーネントへのビデオソースの電源がオンになっていてビデオメディアを再生していることを確認します。</li> <li>1 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。</li> <li>1 コンピュータまたはビデオプレーヤーを再起動します。</li> </ul> |
| ピクチャが画面全体に表示されない。       | ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 DVDの異なるビデオ形式により、モニタが全画面で表示できないことがあります。</li> <li>1 内蔵診断を実行します。</li> </ul>  |

 **注**: DVI-Dモードを選択しているとき、**自動調整**機能は使用できません。

## ユニバーサルシリアルバス(USB)固有の問題

| 特定の症状               | 発生した問題                     | 実行可能な解決策  |
|---------------------|----------------------------|---|
| USBインターフェースが動作していない | USB周辺機器が動作していない            | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 モニターの電源がオンになっているかを確認します。</li> <li>1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。</li> <li>1 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。</li> <li>1 電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。</li> <li>1 コンピュータを再起動します。</li> <li>1 外付けポータブルHDDのような一部のUSBデバイスは、高い電流を必要とすることがあります。デバイスをコンピュータシステムに直接接続してください。</li> </ul> |
| 高速USB2.0インターフェースが遅い | 高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく動作しない | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータがUSB2.0対応かどうかを確認します。</li> <li>1 コンピュータの中には、USB 2.0とUSB 1.1ポートの両方を搭載しているものもあります。正しいUSBポートを使用されていることを確認してください。</li> <li>1 アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。</li> <li>1 USB周辺機器(ダウンストリーム・コネクタ)を再接続します。</li> <li>1 コンピュータを再起動します。</li> </ul>                                |

## Dell™サウンドバーの問題

| 一般的な症状   | 発生した問題                            | 実行可能な解決策  |
|----------|-----------------------------------|---|
| 音が出ない    | サウンドバーに電源が入らない-電源インジケータがオフになっている  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 サウンドバーの電源/音量ノブを反時計回りに回転して中央に位置にします。サウンドバー正面の電源インジケータ(青いLED)が点灯することを確認します。</li> <li>1 サウンドバーから出る電源ケーブルがアダプタに差し込まれていることを確認します。</li> </ul>  |
| 音が出ない    | サウンドバーの電源が入っている-電源インジケータがオンになっている | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。</li> <li>1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します</li> <li>1 コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します(例:オーディオCDまたはMP3)。</li> <li>1 サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。</li> <li>1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。</li> <li>1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例:ポータブルCDプレイヤー)。</li> </ul>  |
| 音が曲がっている | コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>1 すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。</li> <li>1 オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。</li> <li>1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。</li> <li>1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。</li> <li>1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング</li> <li>1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例:ポータブルCDプレイヤー、MP3プレーヤー)。</li> </ul> |
| 音が曲がっている | その他のオーディオ・ソースを使います                | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> </ul>   |

|            |                   |   |
|------------|-------------------|---|
|            |                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 オーディオ・ソースの音量を下げます。</li> <li>1 サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。</li> <li>1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。</li> </ul>  |
| 音出力がアンバランス | サウンドバーの片側からだけ音が出る | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>1 オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>1 すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール(L-R)を中間に設定します。</li> <li>1 オーディオ・ライン・プラグを洗浄して、リセットします。</li> <li>1 コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング</li> <li>1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例、ポータブルCDプレイヤー)。</li> </ul> |
| 低音量        | 音量が低すぎる           | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>1 サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。</li> <li>1 すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。</li> <li>1 オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。</li> <li>1 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします(例、ポータブルCDプレイヤー、MP3プレーヤー)。</li> </ul>   |

[目次ページに戻る](#)